

大阪医療品卸商組合

令和8年新年互礼会を開催

叙勲 大西幹事相談役に花束贈呈 受章 永年勤続社員33人を表彰

大阪医療品卸商組合は5日、令和8年新年互礼会を大阪市中央区のシテイプラザ大阪で開催した。これには組合員や賛助会員、来賓を含めて約140人が参加。今年1年間の奮闘を誓うとともに、初春のあいさつを交わした。

新年のあいさつに立った松浦由治組合長はまず、同組合前組合長の太西健路幹事相談役が令和7年秋の叙勲において旭日双光章を受章されたことを報告。「この受章は医療品業界が世間に認められ地位も上がっていくと考える。この喜び事を契機に業界発展に尽力したい」と祝意をあらわした。

また、今年元日号の新聞に掲載された広告を見せながら、「本日お集まりのメンバー様においては独自の技術やノウハウを持ってお



松浦組合長

られる。それを結集して医療品業界から世間の皆様に喜んでもらう、あるいは生活が楽になるような、そういう商品・サービスをひとつでも多く、世の中に出していきたい。そして我々御がそれを一生懸命担いで、その情報をしっかりお客様にお伝えする1年にしたい。是非ここにお越しの皆様と一緒に頑張っていききたい」と抱負を述べた。

続いて、事務局が改めて大西幹事相談役が令和7年秋の叙勲において旭日双光章を受章されたことを報告した。そして、医療品業界へ多大なる貢献をされたことに對して、その功績をたたえ、深々感謝の意をあらわすため、太西氏に松浦組合長から花束が贈呈された。太西氏は、叙勲受章に際し関係各位に謝意をあらわすとともに、「今後は叙勲の栄誉に恥じることのないよう活動してまいりたい。一層のご指導ご鞭撻をお願いしたい」とあい



答辞を述べる井上氏

さつした。

その後、令和7年度永年勤続社員の表彰式を執り行い、勤続10年11人、同20年9人、同30年9人、同40年4人の対象者33人を代表した4人(勤続10年代表 森本龍氏、谷村医療器、同20年代表 島まどか氏、川本産業、同勤続30年代表 井上良氏、宇都宮製作、同40年代表 高橋真二氏、ピップ)が壇上に上がって松浦組合長から表彰状を受け、その3人を代表した勤

続30年の井上氏が松浦組合長に向けて答辞を述べ、これまでのさまざまな社内外の支援などに感謝するとともに、今後さらに精進して業務を進めていき、さらには後進の指導にも注力することを誓った。

来賓祝辞では、大阪府健康医療部生活衛生室業務課課長の井上和幸氏、大阪医療品卸商組合賛助員会会長の谷口晴紀氏があいさつを行い、新春を寿いだ。

新年賀詞交歓会に移り、

その開宴にあたって東京医療用品卸商協同組合副理事長の國米正裕氏があいさつ。大阪組合主催の西日本医療品総合展示会(1月22日・23日開催)と東京組合主催の東京医療衛生用品フェア(2月19日・20日開催)に触れ、「西日本展示会を成功に導き、その勢いを東京フェアにつなげたい」などと述べ、乾杯の杯を上げた。

宴席では、会場各所で賀詞や近況、情報を交換し、大いに歓談した。中締めは、谷村明信副組合長が登壇し、拍子木を打って調子を取りながらの「大阪締め」で祝宴の結びを演出した。

大西幹事相談役に松浦組合長から花束贈呈